

卒業・入学シーズンの風物詩＜黑板アート＞

海外にも知られる、日本の高校生のミラクルな黑板アート作品を大募集！

「第1回 日学・黑板アート甲子園」開催

2016年春の卒業式・入学式時に描く、入魂の一作を送ってください

黑板メーカーの日学株式会社(本社:東京都品川区大井、代表取締役社長 吉田朋弘)では、毎年卒業・入学シーズンに全国の高等学校の黑板に描かれる「黑板アート」の公開大会、「第1回 日学・黑板アート甲子園」を開催します。

日学では、「Face to Face - 書けば伝わる、共感する。」をイメージフレーズに掲げ、人と人をつなげるコミュニケーションを提供したいという考えに基づき、「日学・黑板アート甲子園」を企画立案しました。

長年取り扱ってきた「黑板」をキャンバスとする、もはや一大アートといっても過言ではない「黑板アート」。私たちはそれを、単にクラスや校内での鑑賞や各自のSNSで披露するだけでなく、広く人々の目や心に届けることで共感し、かつアーカイブとして保存できないかと考え、正式に第1回大会としての開催を決定しました。

第1回大会では、今春の卒業・入学シーズンに描かれる黑板アート作品を募集します。3年生は同級生と残りわずかな高校生活をいとおしみながら、在校生は卒業生への思いを込めて、また、新入生はこれから始まる学校生活への期待を込めて、それぞれ描いた作品の写真を撮って専用サイトより応募してください。感動が詰まった優れた作品を選出し、日学ホームページ上で発表します。そして本大会を通じて新たな才能を発掘すると同時に、日本発のムーブメントとして海外でも知られる「黑板アート」の魅力を、さらに高めていきます。

「第1回 日学・黑板アート甲子園」実施概要

■募集期間: 2016年3月7日(月)～4月8日(金) (予定)

■応募資格: 平成27年4月1日～平成28年4月8日時点で高等学校(高等専門学校、専修学校及び各種学校などの生徒も含む)に在学中の方。

※参加を希望する専修学校及び各種学校にあつては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致すること。

応募はグループ単位(学級、有志メンバーなど)で受付。ただし、応募する場合は必ず在籍校からの承諾を得ること。

※応募時は必ず在籍校名を明記。学校名記載のないものは、審査対象外となります。

■応募規定: <応募様式> 1グループからの応募は1作品のみ

・校内に設置されている黑板をキャンバスとし、画材はチョーク限定。※ホワイトボード、オイルチョークは使用不可

・黑板に描かれた作品の全体像1枚と、特にアピールしたい箇所のアップ(3枚まで)をデジタルカメラで撮影してください。

<審査方法> 主催者及び主催者が選定する審査員による協議のうえ、優秀作品を決定

■応募方法: 応募要項①～⑩について応募専用フォームへ回答頂き、作品を撮影した画像データ(JPEGまたはGIF形式)。

作品の全体像1枚と特にアピールした箇所のアップ3枚までを添付し、ご応募ください。

⇒ 大会ホームページURL: <http://kokubanart.nichigaku.co.jp/>

<応募要項>

①学校名 ②住所 ③電話番号 ④グループ名またはクラス名 ⑤担当教諭名 ⑥グループ人数 ⑦生徒代表者氏名

⑧代表者連絡先メールアドレス ※平成28年4月以降でも連絡が可能なもの

⑨大会を知ったきっかけ ⑩制作時のエピソードや作品への思いなど(100字程度)

※応募専用フォーム以外でのメディア媒体の応募(郵送)も可。 ※お預かりした画像データは返却いたしません。

■賞

・「最優秀賞」:	1点/賞状とトラベルカード5万円分(最優秀賞作品をプリントしたオリジナルデザイン)
・「優秀賞」:	3点/賞状とグルメカード1万円分
・「日学特別賞」:	数点/賞状と記念品
・「審査員特別賞」:	数点/賞状と記念品
・「入賞」:	数点/賞状と小型黑板&チョークセット

■発表 厳正な審査のうえ、2016年4月26日(火)に日学ホームページ上で発表予定

■主催 日学株式会社

■協力 日本白墨工業株式会社 ※チョークメーカー・プレゼントキャンペーンへの商品提供協力

おの だいすけ

○小野大輔氏(長崎県立佐世保西高等学校教諭)

1985年長崎県雲仙市生まれ。2010年、西海市立崎戸中学校に講師として勤務していた時に、卒業生13人の似顔絵を描いたことがきっかけでチョーク絵アーティストとして数多くのメディアに取り上げられる。同10年、「第43回日展」で特選受賞。



第43回日展特選受賞作品「チョーク絵のある静物」油彩



【資格等】

日展会友、白日会会友、長崎県美術協会会員、雲仙市美術振興会会員、長崎日展の会会員

くまざわ かなこ

○熊沢 加奈子氏(チョークアーティスト)

1974年神奈川県藤沢市生まれ。2003年からチョークアートの本場・オーストラリアで受講を重ね、高度な技術を習得。05年にはCAA日本チョークアーティスト協会を設立。カフェなどの店頭看板やメニューボードからテレビ番組の装飾まで、その制作活動は多岐にわたる。自身のアトリエではチョークアーティスト育成のための教室も運営。



みさわ かずみ

○三澤一実氏(武蔵野美術大学教授)

1963年長野県生まれ。東京芸術大学大学院美術研究科修士課程修了。埼玉県公立中学校教員、埼玉県立近代美術館主査、文教大学教育学部准教授を経て、現職。研究テーマは美術教育。鑑賞教育。学校と社会との連携活動の研究。現在は武蔵野美術大学学生有志と「旅するムサビ※」を展開。全国各地の学校や教育委員会、美術館などで鑑賞ワークショップなどを実施。7年間で19都道府県と海外の68校で計104回実施し、延べ約1万人と関わる。



※「旅するムサビ」黒板ジャック活動について

学生が自作品を持って学校に出向き、児童生徒と対話を通して鑑賞の授業を行う「旅するムサビ」。その一環として派生した黒板ジャックは、武蔵野美術大の学生が来たという挨拶も兼ねて全校生徒を驚かせようと始まったもの。黒板は最も効果的で刺激的なツールとなった。

よしだ ともひろ

○吉田朋弘(日学株式会社 代表取締役社長)

2016年2月24日発売(iTunesとレコチョクにて2月3日に先行配信)「咲かないで」が「第1回 日学・黒板アート甲子園」応援テーマソングに決定。また昨年春に行われた同大会のプレ大会で最優秀賞を受賞した高知県立高知西高校「かさぶたず」とのコラボミュージックビデオも完成。楽曲のテーマである「卒業」と、「消すまでが作品」という「黒板アート」の定義がコラボした素晴らしい映像となっている。さらに今回出来上がった黒板アート作品が「咲かないで」のジャケット写真になる事も決定！



【WHITE JAM】プロフィール

リーダーSHIROSE(シンガー)率いる、GASHIMA(ラッパー)、NIKKI(シンガー)の3人組。2014年1月22日、1stシングル「Valentine」でメジャーデビュー。それぞれがプロデューサーとしても精力的に活動しており、彼等が手掛けた作品は20作以上が国内チャートで1位を獲得。2016年、音楽シーンに新たなムーブメントを巻き起こす存在として認知が広がり各方面から注目を集める存在である。

※黒板アートに取り組む高校生へのメッセージ！

どこにでもあるただの黒板が、
みなさんの手によって世界に変わる。
気づいていますか？
それができてしまうみなさんは、特別です。

書きたいものを書き続けてください。
やりたいことをやり続けてください。

SHIROSE from WHITE JAM

日学株式会社について

Face to Face — 書けば伝わる、共感する。

Nichigaku

1957年9月12日設立
資本金：5,000万円

黒板、ホワイトボード、電子黒板、掲示板、その他関連商品の製造メーカー。高品質なアルミホーロー表面材を使用した学校黒板や、壁面全面をホワイトボードにする施工商品「SMW」など、オリジナル製品の開発・製造を行い全国へ販売している。主に教育施設や公共、オフィス市場などに向けて商品を供給している。

■最優秀賞



高知県立高知西高等学校／かさぶたず(2人)

行事でもよく黒板に描いていたので、卒業を機に高校で一番印象に残る部活動をテーマにしました。仲間の繋がりをバトンに表し、背景は様々な部活の一場面をイメージしました。チョークが足りず買いに行ったり、早朝に行ったりと大変でしたが、それも思い出となりました。

■優秀賞



埼玉県立大宮光陵高等学校／2年8組うのり(4人)

タイトルは「見てないすきに」です。見る人が楽しめるようにいろんな面白いアイデアを詰め込み、黒板ならではの表現にこだわりました。細かいところまでご注目ください。描いていて凄く楽しかったです。

■日学特別賞



千葉県立松戸高等学校／松戸高校芸術科9期生有志(11人)

テーマは「祈り」です。芸術科9期生はそれぞれ個性的で我が強く共同制作にあたり不安でしたが、それを逆に生かせればと思い、各々の得意分野を盛り込んだ構成にしました。完成後、いつも厳しい担任から初めて100点満点の評価をもらうことができました。



茨城県立水戸桜ノ牧高等学校／2年7組(2人)

日本文化とともにあり続ける富士山。この美しい富士山を黒板いっぱい描き上げました。全体的なバランスと画面へのおさめ方がとても難しく感じましたが、このような絵はあまり描く機会がないのでとても新鮮に感じました。



長崎県立佐世保西高等学校／美術部(9人)

卒業される3年生全員へのお祝いの気持ちと、今までお世話になったことへの感謝の気持ちを込めて黒板アートを制作しました。200人を越える先輩全員に送った作品は、6クラスそれぞれの担任の先生と学年主任を描きました。そして、描いた先生方から一言ずつメッセージを書いていただいて完成しました。

応募上の注意

- ・作品はオリジナル制作で、他のコンクールや作品展に出品されていない新規作品に限ります。
また、他の作品の模倣や類似と認められた作品は、たとえ入選決定後であっても賞を取り消す場合があります。
- ・平成28年1月以前に存在する作品やモチーフは、審査の対象外となります。
- ・画像加工ソフトのトリミング以外の機能を使用した作品は、審査の対象外となります。
- ・他者の肖像権、画像やイラストの著作権を侵害する素材は、使用しないでください。
- ・宣伝目的・営利目的の投稿など大会の趣旨にそぐわないものは応募できません。
- ・1グループからの応募は1作品のみとし、二重投稿や盗作は固くお断りします。
- ・入選者の住所(市区)・学校・クラス名は紙面その他で公表します。あらかじめご了承ください。
- ・応募作品の著作権は、著作権法第27条及び第28条の権利を含め、賞の発表時点をもって日学に移転し、応募者は著作者人格権を行使しないものとします。
- ・応募作品は入選、落選を問わず、一切返却いたしません。
- ・専用応募サイトからの応募中の事故により作品が届かなかった場合や問題が発生した場合、主催者は一切責任を負いません。
- ・応募にかかる費用(データ通信費など)は、応募者の負担とします。
- ・入選作品、及び応募作品は各社媒体(書籍、放送、インターネットを含む)で公表される場合があります。

個人情報については、以下「個人情報の取り扱いについて」に基づいて取り扱います。

個人情報の取り扱いについて:主催者は個人情報の重要性を認識し、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を厳守し、応募者から提供いただく個人情報は、日学株式会社の「プライバシーポリシー」に基づき管理します。応募者の個人情報は、本大会における作品の審査、発表、表彰、応募状況の集計、以外の目的で使用することはありません。

■掲載についての報道ご関係者からのお問い合わせ先■

「日学・黒板アート甲子園」広報事務局
(株)エムズプランニング内)

担当:葛城 Tel:03-6671-9277

E-mail:kokubanart-pr@emsp.co.jp

■一般からのお問い合わせ先■

日学・黒板アート甲子園事務局

Tel:03-6671-9250(平日10~17時)

E-mail:kokubanart@emsp.co.jp